

令和5年7月9日からの大雨に対する九州地方整備局の対応

○九州地方整備局では、災害により被災を受けた自治体への支援を実施

- ・ホットライン：九州4県65市町村と必要な支援体制等を構築
- ・リエゾン派遣：福岡県、佐賀県、大分県の3県庁及び11市町村に28名（延べ114名）を派遣
- ・防災ヘリ調査：はるかぜ号による上空調査（5回）を行い、自治体へ映像配信・データ提供
- ・TEC-FORCE派遣：被災状況調査のため、2市1町1村に総勢22班78名（延べ411名）を派遣

唐津市へTEC-FORCE・TEC-DOCTOR派遣

派遣期間：R5.7.10

TEC-FORCE：1班 2名

TEC-DOCTOR：1名

被災状況調査：1箇所



広川町へTEC-FORCE派遣

派遣期間：R5.7.18

TEC-FORCE：2班 7名

災害復旧技術専門家：4名

被災状況調査：4橋



TEC-FORCE・災害復旧技術専門家の被災状況調査

久留米市へTEC-FORCE派遣

派遣期間：R5.7.13～25（内10日間）

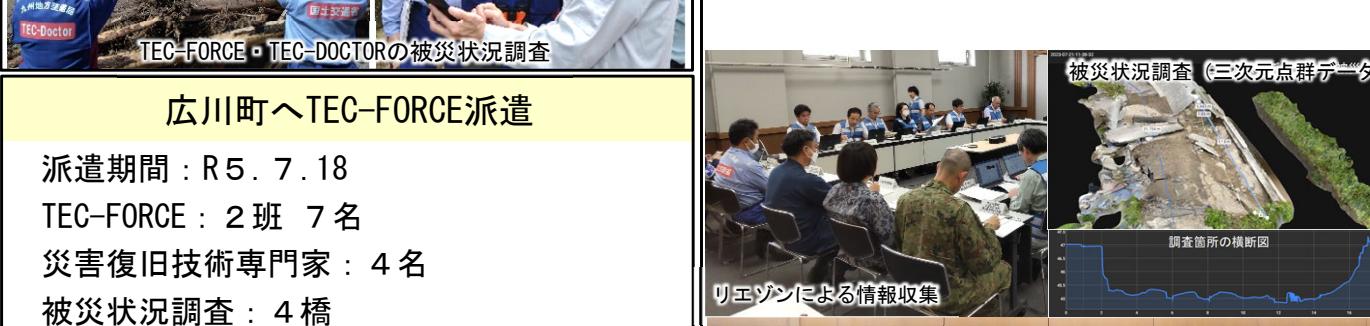
TEC-FORCE：9班 37名（延べ242名）

被災状況調査（河川）：15河川 36箇所

被災状況調査（道路）：12路線 17箇所

手交式

- R5.7.25 10:00 市長応接室
- 出席者：原口新五 久留米市長、副市長、TEC-FORCE隊等、約20名



原口新五市長

手交式

東峰村へTEC-FORCE派遣

派遣期間：R5.7.20～27（8日間）

TEC-FORCE：5班 19名（延べ147名）

被災状況調査（河川）：4河川 43箇所

被災状況調査（砂防）：1箇所

被災状況調査（道路）：7路線 14箇所

手交式

- R5.7.27 10:00 宝珠山庁舎 第2会議室
- 出席者：眞田秀樹 東峰村長、副村長、TEC-FORCE隊等、約20名



眞田秀樹村長

手交式